

平成25年度予算見積調書

課室名：高校教育指導課

担当名：体験活動・キャリア教育推進担当

内線：6772

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B47	ラーニング・サポート推進事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費	
事業期間	平成23年度～平成25年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>生徒の基礎基本に課題のある全日制高校10校を対象にして、大学生を学習アドバイザーとして活用したり、組織的に学習指導を行ったりするなど、徹底的に基礎基本の定着と学習意欲の向上を図る。</p> <p>定時制高校には教職経験者や地域の人材等を活用した学習支援員を配置し、学習指導や学校行事などできめ細かい指導をし、教育活動全体を支援する。</p> <p>(1) ラーニング・サポート推進事業 9,197千円 (2) 学習支援員の配置事業 15,164千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ラーニングサポート推進事業 9,197千円 生徒の基礎基本に課題のある全日制高校10校を対象にして、大学生を学習アドバイザーとして活用したり、組織的な学習指導を行ったりするなど、徹底的に基礎基本の定着と学習意欲の向上を図る。</p> <p>イ 学習支援員の配置事業 15,164千円 定時制高校30校を対象にして、教職経験者や地域の人材等を活用した学習支援員を配置し、学習指導や学校行事などできめ細かく指導し、教育活動全体を支援する。</p> <p>(2) 事業計画 学校の実状に即して、各学校が学習アドバイザー・学習支援員を活用し、授業での補助等学習指導を行っている。今後は、学習アドバイザー・学習支援員の活用方法を含む基礎基本を生徒に習得させる方法等について学校間の情報交換等学校間連携を強め事業を充実させていく。</p> <p>(3) 事業効果 各学校で成果指標を設け実施しており、平成23年度では、以下の例のような効果があった。 ア 1学期の欠点保有者が54.7%から34.0%に、2学期の欠点保有者が66.0%から31.0%にそれぞれ減少した。 イ 1学年の進級率が56.0%から67.4%に上昇した。 ウ 漢字検定(40点満点)の数値が年度内に上昇した。漢字検定5級レベル26.6点(4月)から30.8点(2月)に、漢字検定7級レベル30.7点(4月)から35.3点(2月)に、それぞれ上昇した。 エ 授業アンケートで授業が分かると答えた生徒の割合が1学期48.7%から2学期55.6%に上昇した。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地域の人材や大学生等を学習アドバイザーや学習支援員として活用している。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	24,361						24,361	△50
前年額	24,411						24,411	